



ミーティング

Webex Meetings アプリから Webex アプリへの移行

展開ガイド

2021年10月19日

© 2021 Cisco - CTG TME



コンテンツ

コンテンツ.....	2
このガイドの最新情報.....	4
紹介.....	7
対象読者.....	7
概要.....	7
コア コンポーネント.....	10
関連するコンポーネントの役割.....	10
移行.....	14
この移行展開ガイドの概要.....	14
移行前の手順と考慮事項.....	14
1. ネットワークとファイアウォールの要件を確認する.....	14
2. 移行に向けて Control Hub を準備する.....	15
i. Control Hub の初期セットアップ (必須).....	15
ii. ドメインの追加と確認 (強く推奨).....	15
iii. ユーザーの要求 (強く推奨).....	16
iv. ドメインの要求 (強く推奨).....	16
v. 自動ライセンス テンプレートのセットアップ (強く推奨).....	17
3. ユーザー管理と認証の設定を行う.....	17
i. SSO を有効にする (オプション).....	17
ii. ディレクトリからユーザーを同期する (オプション).....	18
4. ハイブリッド カレンダー サービスを展開する.....	19
移行手順と考慮事項.....	20
1. Webex Control Hub をセットアップする.....	20
i. Webex サイトを Webex Control Hub にリンクする (必須).....	20
ii. リンクが成功したことを確認する (必須).....	21
iii. リンク済みユーザーにサービスとライセンスを割り当てる (必須).....	22
iv. ミーティング データ保持ポリシーの設定 (オプション).....	24
v. コンテンツの規制コンプライアンスを確認する (オプション).....	25
vi. フル機能のミーティング エクスペリエンスを有効にする (必須).....	25
2. Webex アプリを展開する.....	26
3. Webex Meetings アプリを Webex アプリに更新する.....	27
移行後の手順と考慮事項.....	30
1. 移行後の考慮事項を確認する.....	30
2. Webex Meetings アプリを削除する.....	33

3. Webex アプリの新機能や今後公開予定の機能を追跡する.....	33
参照情報	35
コラボレーション移行.....	35
ハイブリッド サービス.....	35
ミーティング.....	35
ネットワーク.....	36
ユーザーと Webex Control Hub	36

このガイドの最新情報

表 1 は、このガイドに追加された更新トピックと新規トピックの履歴一覧です。

表 1。 *Webex Meetings* アプリから *Webex* アプリへの移行展開ガイドの公開履歴

日付	更新・新規トピック	更新の詳細と箇所
2021年2月10日	最初のドキュメント公開	最初のリリース
2021年3月10日	Webex Meetings アプリケーションのインストール、更新、アンインストールに関する情報、および移行後の考慮事項を更新。	<ul style="list-style-type: none"> ▪ <u>移行手順 1 (Webex Control Hub をセットアップする)、サブ手順 vi (フル機能のミーティング エクスペリエンスを有効にする)</u> ▪ <u>移行手順 2 (Webex アプリを展開する)</u> ▪ <u>移行後の手順 1 (移行後の考慮事項を確認する)</u> ▪ <u>移行後の手順 2 (Webex Meetings アプリを削除する)</u>
2021年8月23日	ブランディングの更新と形式の修正	ドキュメント全体
	移行の前提条件制限の削除	<u>概要</u>
	必須および強く推奨される移行前の手順、ハイブリッドカレンダー、OBTP や参加ボタンの動作に関するマイナーな明確化と更新。	<ul style="list-style-type: none"> ▪ <u>移行前の手順 2 (移行に向けて Control Hub を準備する) サブ手順 ii (ドメインの追加と確認)</u> ▪ <u>移行前の手順 2 (移行に向けて Control Hub を準備する) サブ手順 iii (ユーザーの要求)</u> ▪ <u>移行前の手順 4 (ハイブリッドカレンダー サービスの展開)</u>

日付	更新・新規トピック	更新の詳細と箇所
	Webex アプリのインストール場所に関する情報について、適切な Webex ヘルプ記事の詳細を示すよう更新。	▪ <u>移行手順 2 (Webex アプリを展開する)</u>
	Webex Events (新) およびフル機能のミーティングのユーザー ミーティング エクスペリエンスに関するマイナーな説明と更新、およびベンダーによる変更に伴う O365 から M365 への更新。	<u>移行後の手順 1 (移行後の考慮事項を確認する)</u>
	Webex Meetings アプリが Webex アプリに更新される際に、Control Hub で更新月を設定する機能を追加。	<u>Update the Webex Meetings App to Webex App</u>



紹介

このドキュメントは、Webex Meetings アプリから Webex アプリへの移行パスの理解をサポートすることを目的としています。ミーティング クライアント アプリケーションの移行を評価する際の一般的な考慮事項と展開手順を説明します。

一般的な検討事項と詳細な手順を記載し、必要に応じて他のドキュメントへのリンクも記載しています。

対象読者

この移行展開ガイドは、Webex Meetings で Webex Meetings アプリのみを使用し、Webex アプリを導入していない、以下のいずれかを持つ顧客を対象にしています。

- Webex サイト管理で管理されている Webex サイト (<https://<サイト名>.webex.com/admin> から直接アクセスできるサイト)。
- Webex Control Hub (Control Hub) にリンクしている Webex Meetings のサイトとユーザー。
- Control Hub で管理されている Webex Meetings のサイト (Control Hub <https://admin.webex.com/> からアクセス可能なサイト)

対象読者は、Webex Meetings サイトを管理し、Webex アプリ、Control Hub でのユーザー管理、サービス、アプリケーション設定に関する知識を持つ個人またはチームです。

概要

Webex Meetings は Webex コラボレーション ソリューションの一部であり、Webex Cloud で主催されるミーティングに世界中のどこからでも、さまざまなデバイスでアクセスできます。

Webex Meetings アプリにはフル機能のエクスペリエンスが備わっており、ミーティングに使用されています。しかし、Webex Meetings アプリはミーティングのみにしか使用できません。通話やメッセージングなど、その他のコラボレーション ワークロードには別のアプリが必要です。

移行後は Webex アプリをミーティングだけでなく、通話やメッセージングのワークロードにも使用できます。これにより、顧客はさまざまなコラボレーション ワークロードに対して単一のアプリを展開すると同時に、統合されたエクスペリエンスを提供できます。

フル機能のミーティングを備えた Webex アプリは、現在の Webex Meetings アプリと同じミーティング エクスペリエンスを提供します。このフル機能のエクスペリエンスには、People Insights や Webex Assistant などの AI 対応機能が備わっており、より強固なエクスペリエンスを提供するとともに、ミーティング中の参加者の対話を促進するその他の機能も強化しています。

フル機能のミーティング エクスペリエンスなしでは、Webex アプリで Webex Meetings に参加しても、音声、ビデオ、コンテンツ共有、レイアウトの変更などの基本的なミーティング機能しか利用できません。

図 1 は、Webex Meetings を展開した Webex Meetings アプリの現在のアーキテクチャを示したものです。

図 1。移行前: Webex Meetings が展開されている Webex Meetings アプリ

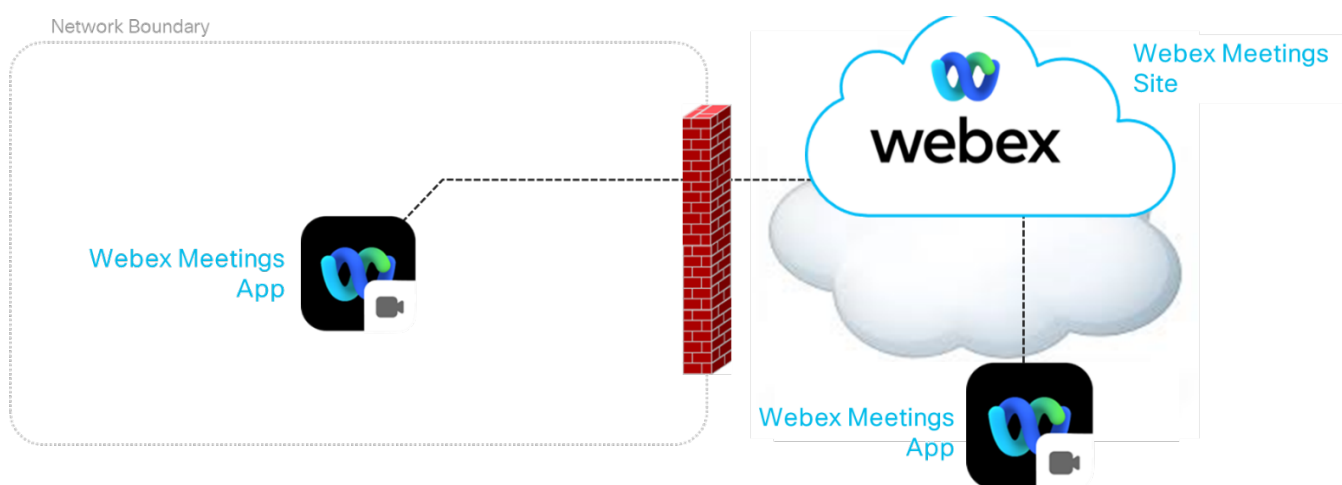


表 2 は、Webex アプリに移行する前の、Webex Meetings が展開されている Webex Meetings アプリのアーキテクチャの主要な要素を一覧表示したものです。

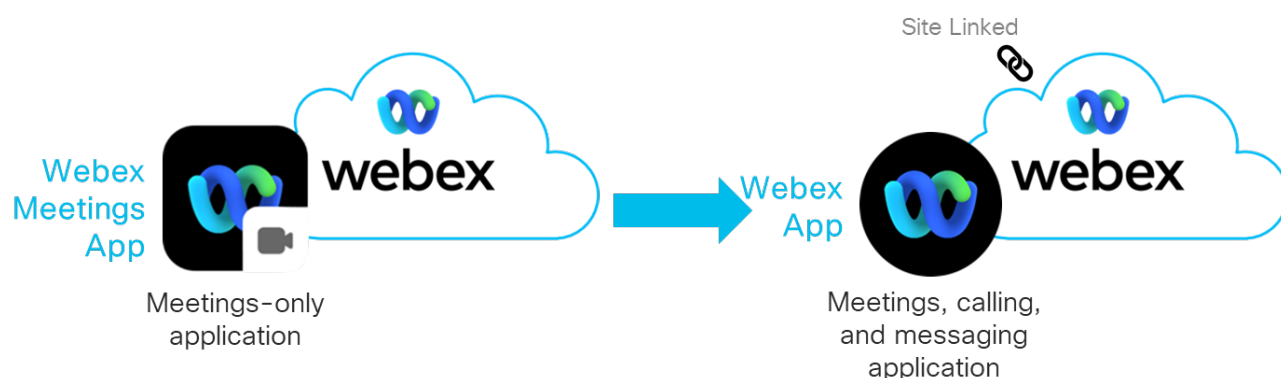
表 2。移行前: Webex Meetings アプリ展開コンポーネント

製品	説明
Webex Meetings アプリ	Webex Meetings アプリはユーザーのデスクトップやモバイル デバイスで動作し、ミーティングをスケジュールしたり、ミーティングに参加したりできます。Webex Meetings アプリはスタンドアロン アプリケーションとして動作します。

Webex Meetings サイト	Webex プラットフォームは組織の Webex Meetings サイトにミーティング サービスを提供し、Webex Meetings アプリにミーティング機能を拡張します。
--------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

図 2 で示すように、Webex Meetings アプリを使用している顧客は、ミーティングのワークロードを Webex アプリに移行する選択ができます。この移行に関する意思決定は、顧客の機能要件に基づいて行う必要があります。

図 2. 移行の決定: Webex Meetings アプリから Webex アプリへ



この移行を行う前に、顧客は以下の前提条件をすべて満たす必要があります。

- Webex Meetings サイトおよび Webex Meetings アプリでは 41.10 以降を使用するよう強く推奨しますが、最小バージョンは 41.2 です。
- Webex Meetings サイトは次のいずれかに該当します。
 - Webex Meetings サイトおよび Webex サイトのユーザーは Webex Control Hub にリンクされている
 - Webex Meetings サイトは Webex Control Hub で管理されている

注意: 開始前に、移行後の手順 1. 移行後の考慮事項を確認するについても確認し、この移行の影響について理解してください。

コア コンポーネント

関連するコンポーネントの役割

この移行のターゲット アーキテクチャには、Webex Meetings と組み合わせて使用できる新しい主要なコンポーネントがいくつか含まれています。これには、Active Directory とのアイデンティティ連携を行う Cisco Directory Connector や、Microsoft Exchange などの企業カレンダーとの連携を行い、「@」でのスケジューリングを可能にする Calendar Connector が含まれます。

メモ: Webex プラットフォームは、AZURE AD や Okta などの SCIM API ベースのエンタープライズ ディレクトリをサポートしています。これはアイデンティティ連携に Directory Connector を必要としません。

図 3 は、Webex アプリを含む新しい展開アーキテクチャで、Webex Meetings サイトとユーザーを Control Hub にリンクした後のアーキテクチャを示しています。

図 3. 終了後: Webex Meetings が展開されている Webex アプリ

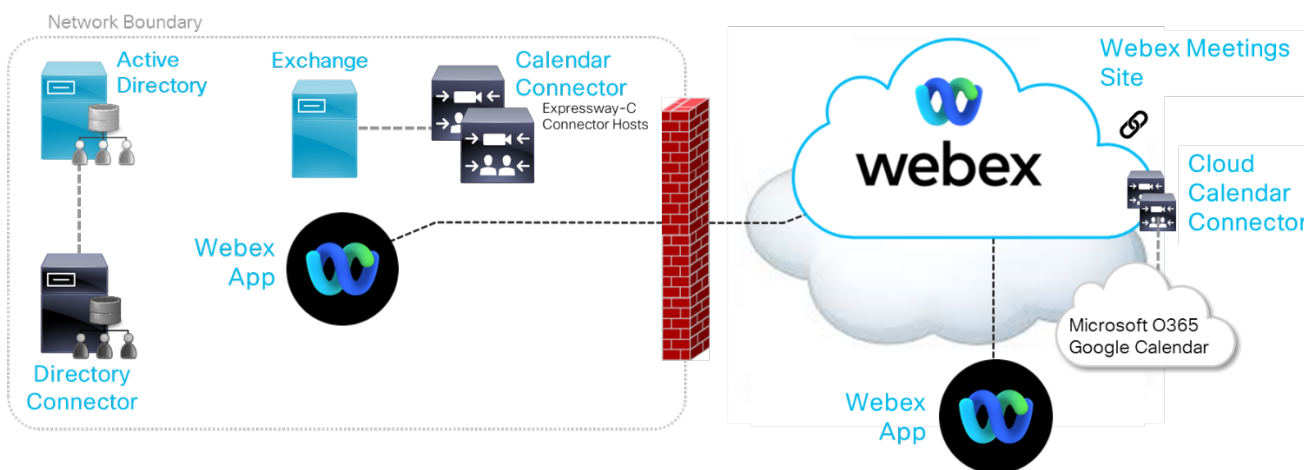


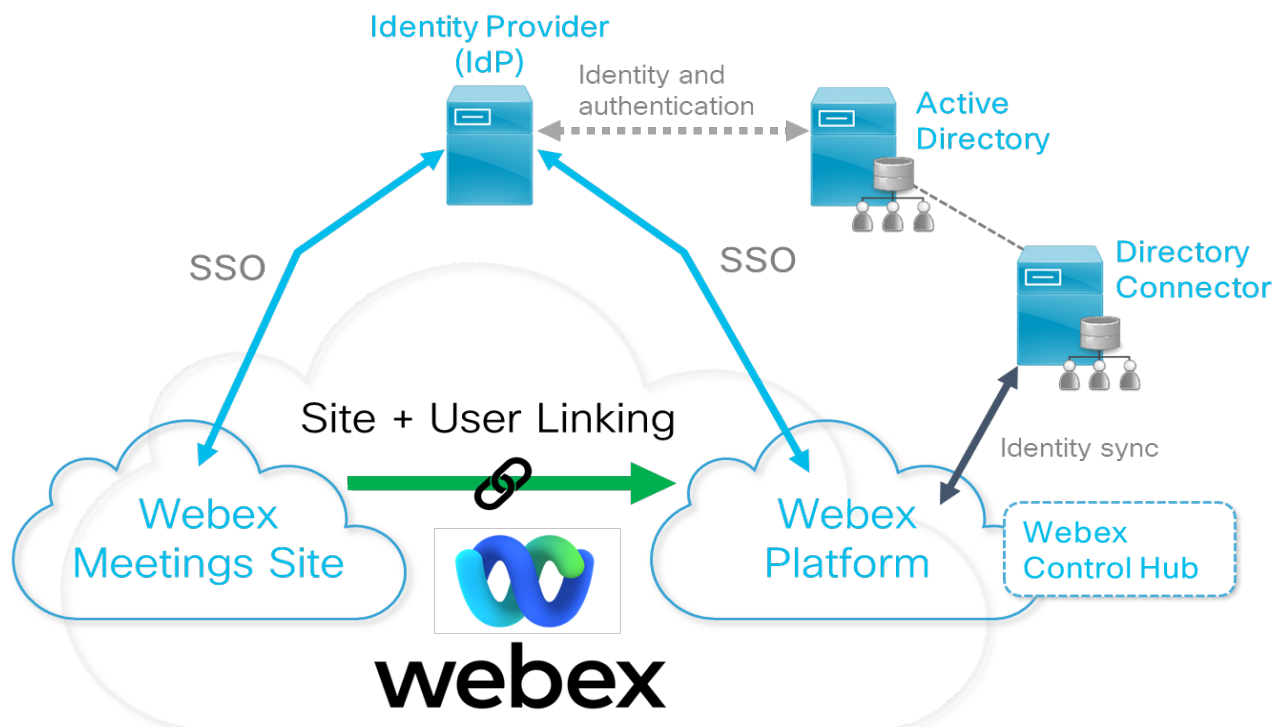
表 3 は、Webex に移行した後のアーキテクチャの新しい要素を一覧表示したものです。

表 3. 終了後: Webex アプリ展開コンポーネント

製品	説明
Webex アプリ	Webex アプリはユーザーのデスクトップまたはモバイル デバイスで動作し、ユーザーはミーティングのスケジュールや参加だけでなく、通話やメッセージの送受信ができます。Webex アプリはスタンドアロン アプリケーションとして動作します。
Webex Meetings サイト	Webex プラットフォームは組織の Webex サイトにミーティング サービスを提供し、Webex アプリにミーティング機能を拡張します。
Directory Connector	Directory Connector は Windows サーバーで動作し、Active Directory のユーザーやアイデンティティ サービスを Webex に連携できるようにします。
Calendar Connector	Calendar Connector は Expressway-C コネクタ ホストで動作し、「@」キーワードによるスケジューリングを可能にします。さらに、Calendar Connector はクラウド上でクラウド カレンダーとの連携 (M365、Google) も可能にします。

図 4 は、Webex Meetings サイトにリンクしているサイトとユーザーが Webex プラットフォームと Control Hub にリンクする際の、Webex サイトのリンク アーキテクチャの概要を示したものです。

図 4. Webex サイトのリンク アーキテクチャ



組織の ID プロバイダー (IdP) は、シングル サインオン (SSO) 用のアイデンティティと認証情報を一元管理します。

このケースでは、Active Directory が SSO の認証情報を提供し、Directory Connector がユーザーのアイデンティティ情報を Active Directory から Webex 組織のアイデンティティストアに同期します。

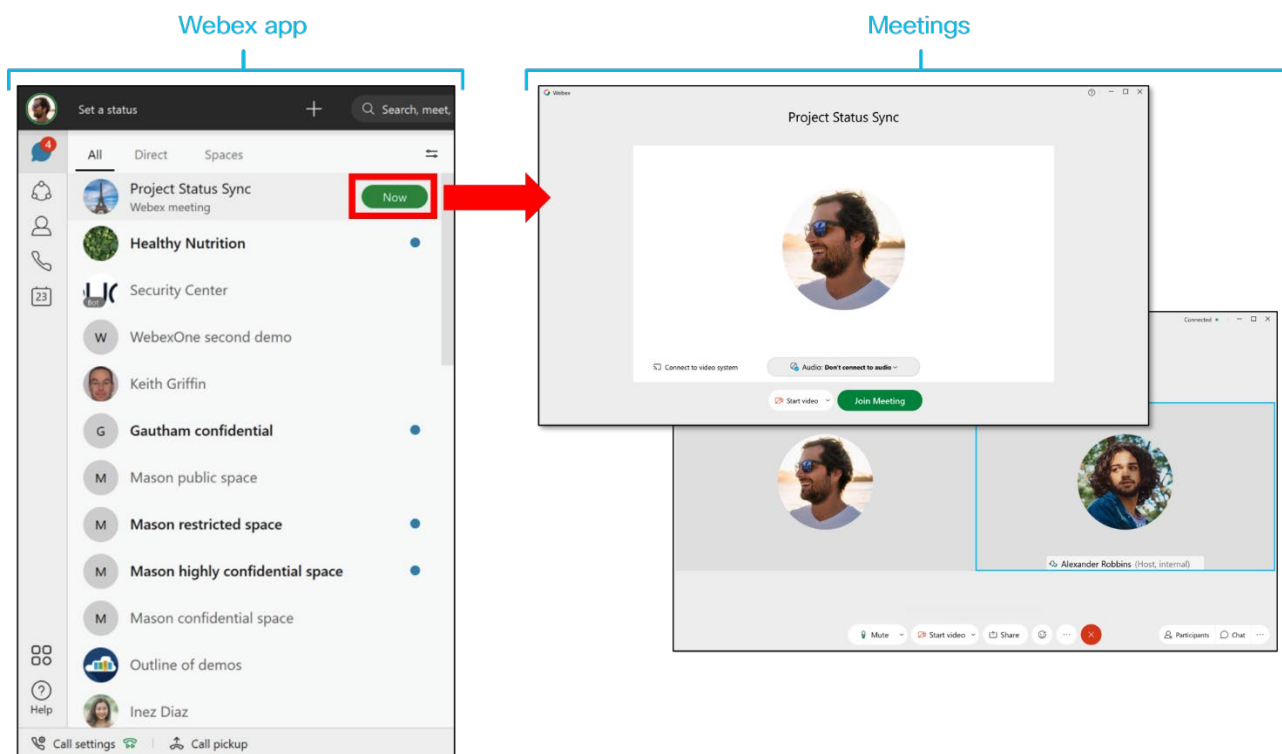
サイト リンク、SSO、Directory Connector の詳細については、[移行](#)のセクションで説明します。

Webex アプリは Control Hub で管理します。Control Hub は Webex の管理インターフェイスです。Control Hub では管理者がユーザーを管理したり、組織の機能や設定を構成したりできます。また、Control Hub は豊富な分析機能とリアルタイムのトラブルシューティング機能も提供します。

図 5 で示すように、Webex アプリでフル機能のミーティング エクスペリエンスを提供するには、2 つのコンポーネントが必要です。Webex アプリ自体とミーティング コンポーネントです。Webex アプリは、Webex アプリ インストーラーを実行してインストールします。Webex アプリは、アプリの実行中にユーザーに表示される主要なインターフェ

イスです。Webex アプリでは、アプリ内のカレンダーやミーティング参加ボタンが表示され、ミーティングを開始したり、アプリケーションの基本設定を行ったり、メッセージを送受信したりできます。ミーティングを開始すると、ミーティング コンポーネントのインターフェイスが表示されます (図 5 を参照してください)。

図 5. Webex アプリのユーザー エクスペリエンス



ミーティング コンポーネントが存在しない場合や最新ではない場合、ユーザーが Webex アプリにサインインすると、ミーティング コンポーネントがユーザーの指定したミーティング サイトから自動的にダウンロードされ、インストールされます。同様に、ユーザーがミーティングに参加するときにミーティング コンポーネントが最新でない場合、ミーティング サイトから自動的にダウンロードされ、インストールされます。



移行

この移行展開ガイドの概要

このセクションでは、Webex Meetings アプリの展開から Webex アプリの展開に移行するために必要な手順について説明します。

この移行は、大きく次の 3 つの手順に分かれます。

- **移行前の手順** - 移行を行う前に環境を用意するために行う必要がある準備手順です。
移行前の一連の手順では、ユーザー管理、認証、カレンダーの連携を行うために Control Hub を設定します。
- **移行手順** - Webex Meetings アプリから Webex アプリへの移行を行うための手順です。
移行手順では、実際に Webex Meetings アプリから Webex アプリへの移行、サイトとユーザーの Control Hub へのリンク、アプリケーションの展開を行います。
- **移行後の手順** - 移行完了後に実施する必要がある手順です。
このケースでは、移行後の手順で Webex Meetings アプリの削除、および Webex アプリ機能セットの更新のトラッキングについて詳細を案内しています。

移行前の手順と考慮事項

以下は、Webex Meetings アプリから Webex アプリへの移行を準備するときに考慮すべき移行前の手順です。

1. ネットワークとファイアウォールの要件を確認する

移行前に、ネットワークとファイアウォールを通過することが予想されるトラフィックのネットワーク プロトコルとポートを理解することが重要です。オンプレミス ネットワーク間のトラフィックに対して、必要なトラフィック ネットワーク ポート、サービス ドメイン、クライアント ルート証明書のプロバイダーを確保しておく必要があります。

詳細については、「[Webex サービスのネットワーク要件](#)」

<https://help.webex.com/ja-JP/WBX000028782/Network-Requirements-for-Webex-Services> の記事を参照してください。

2. 移行に向けて Control Hub を準備する

Control Hub は、管理者が組織のユーザー、アプリケーション、サービスを管理するための管理インターフェイスです。

移行の前に、以下の手順を設定または確認する必要があります。

- i. Control Hub の初期セットアップ (必須)
- ii. ドメインの追加と確認 (強く推奨)
- iii. ユーザーの要求 (強く推奨)
- iv. ドメインの要求 (強く推奨)
- v. 自動ライセンス テンプレートのセットアップ (強く推奨)

i. Control Hub の初期セットアップ (必須)

すでに実行済みの場合を除き、Control Hub の初期ログインとセットアップを実行します。

初期ログインとセットアップの詳細については、「Cisco Webex Control Hub を使い始める」<https://help.webex.com/ja-JP/nkhozs6/Get-Started-with-Cisco-Webex-Control-Hub> の記事を参照してください。

ii. ドメインの追加と確認 (強く推奨)

組織のドメイン所有権を証明するために、Control Hub にドメインを追加して確認します。Control Hub ではドメインの所有権を証明して、組織のセキュリティと完全性を確実にする必要があります。ドメインの確認を行わない場合、フル機能のミーティングを備えた Webex アプリは引き続き機能しますが、セキュリティ機能の一部が動作しない可能性があります。また、ドメインが確認されていないと、組織の外部のユーザー (例えば、会社のメールを使用して無料アカウントにサインアップしたユーザー) は Control Hub に表示されないため、要求されず、フル機能のミーティングを使用することができません。上記のような制限があるため、ドメインの確認を強く推奨します。

Webex のドメインの追加と確認の詳細については、「ドメインを管理する」https://help.webex.com/ja-JP/cd6d84/Manage-Your-Domains#Cisco-Task.dita_01123578-ddcb-41d5-9bce-df3af6045e8b の記事を参照してください。

iii. ユーザーの要求 (強く推奨)

ユーザーの要求はオプションですが、強く推奨します。ユーザーの要求をすると、管理者は確認済みのドメインを持つ既存のユーザーをプライマリ組織に移動できます。これにより、すべてのユーザーが一貫したコラボレーション エクスペリエンスを得て、組織の同じ機能やサブスクリプション セットにアクセスできるようになります。要求されたユーザーは、即時要求または遅延要求によって組織に取り込まれます。遅延要求では、ユーザーはすべての Webex アプリの会話を既存アカウントから新しいアカウントに移行するかどうかを 14 日間以内に決定できます。

メモ: CSV ファイルでユーザーを要求するときは、要求されたすべてのユーザーを確認して、要求プロセス中に適切なライセンスまたは資格を取得します。

Webex 組織のユーザー要求の詳細については、「[ユーザーを組織に要求する \(ユーザーの変換\)](https://help.webex.com/ja-JP/nceb8tm/Claim-Users-to-Your-Organization-Convert-Users)」<https://help.webex.com/ja-JP/nceb8tm/Claim-Users-to-Your-Organization-Convert-Users> の記事を参照してください。

iv. ドメインの要求 (強く推奨)

ドメインの要求はオプションですが、強く推奨します。ドメインを要求すると、ユーザーのアカウントが作成された際に、確認されたドメインからのすべてのユーザーは自動的に単一のプライマリ組織に配置されます。

要求されたドメインを持つ組織は Cisco Technical Assistance Center (TAC) に問い合わせチケットを開き、セルフサインアップを無効にして、ユーザーが組織のメールドメインで新しいアカウントにサインアップできないようにすることができます。これにより、組織は組織内のすべてのドメイン ユーザー アカウントをコントロールできます。

注意: 顧客が同じドメインを持つ複数の組織を持っている場合、そのドメインを要求することはできません。例えば、北米組織が「amer.example.com」、アジア/太平洋組織が「apac.example.com」をドメインとして使用している場合、example.com ドメインは要求できません。

Webex のドメイン要求の詳細については、「[ドメインを管理する](https://help.webex.com/ja-JP/cd6d84/Manage-Your-Domain#Cisco_Task.dita_62139eaf-0eae-4d19-9c79-561e64d6ee9a)」https://help.webex.com/ja-JP/cd6d84/Manage-Your-Domain#Cisco_Task.dita_62139eaf-0eae-4d19-9c79-561e64d6ee9a の記事を参照してください。

v. 自動ライセンス テンプレートのセットアップ (強く推奨)

自動ライセンス テンプレートのセットアップはオプションですが、強く推奨します。ライセンスの自動割り当てテンプレートでは、Control Hub で作成されたユーザーに自動的にライセンスが割り当てられ、新規ユーザーのオンボーディング プロセスを簡素化します。管理者は Control Hub でデフォルトのライセンス テンプレートをセットアップして、新規ユーザーにライセンスを自動的に割り当てることができます。また、Active Directory (AD) から Webex アイデンティティ サービスにユーザーを同期するために Directory Connector が展開されている場合、AD グループに基づいて、新規ユーザーにライセンス テンプレートを適用できます。

ライセンス テンプレートの自動割り当ての詳細については、「Cisco Webex Control Hub でライセンス割り当てテンプレートを自動的にセットアップする」<https://help.webex.com/ja-JP/n3ijtao/Set-Up-Automatic-License-Assignment-Templates-in-Cisco-Webex-Control-Hub> の記事を参照してください。

3. ユーザー管理と認証の設定を行う

この一連の手順では、ユーザー管理と認証の設定オプションを中心に説明します。

以下の手順を実行して、ミーティング アプリケーションの移行の準備をします。

- i. [SSO を有効にする \(オプション\)](#)
- ii. [ディレクトリからユーザーを同期する \(オプション\)](#)

i. SSO を有効にする (オプション)

これはオプションですが、SSO を有効にしてユーザーが Webex Meetings、Webex アプリ、組織内のその他のアプリケーションで単一かつ共通の資格情報セットを使用して認証できるようにすることがベスト プラクティスです。組織が 1 つ以上の Webex Meetings サイトで構成されており、ミーティング サイトまたは Control Hub のいずれか 1 つで SSO が有効になっている場合は、すべてのサイトと Control Hub で SSO を有効にすることを強く推奨します。有効にしない場合、組織の Webex Meetings サイトと Control Hub ユーザーで、認証の不整合の問題が発生します。

組織が ID プロバイダー (IdP) サービスを使用している場合は、SAML IdP を Control Hub および Webex Meetings サイトと連携し、SSO を行うようにします。Control Hub とすべての Webex Meetings サイトで同じ SSO ID プロバイダーを使用して、ユーザーが一貫してサインインできるようにすることが推奨されます。

メモ: 組織が SSO を有効にしないことを選択した場合、セキュリティを強化するために、組織内のすべてのユーザーに対して簡単な多要素認証 (MFA) を有効にします。Cisco では iOS または Android のアプリストアから無料でダウンロードできる MFA 用の Duo Authenticator を推奨しています。

注意: 組織が Control Hub で SSO を無効にしても、SSO を有効にしているリンク先のサイトが 1 つ以上ある場合、Webex アプリのユーザーは最初にリンクされた SSO サイトで認証されます。

Webex Meetings サイトでの SSO の詳細については、「*Cisco Webex に SSO を設定する*」<https://help.webex.com/ja-JP/g5ey83/Configure-Single-Sign-On-for-Cisco-Webex-Site> の記事を参照してください。

Control Hub と Webex アプリでの SSO の詳細については、「*Cisco Webex Control Hub のシングル サインオン インテグレーション*」<https://help.webex.com/ja-JP/lfu88u/Single-Sign-On-Integration-in-Cisco-Webex-Control-Hub> の記事を参照してください。

ii. ディレクトリからユーザーを同期する (オプション)

これはオプションですが、推奨されるベスト プラクティスは、Directory Connector を使用してサポートされているディレクトリからユーザーを Active Directory に同期させるか、または SCIM API を使用して Azure AD や Okta を Webex 組織のアイデンティティの保存先に同期させることです。これにより、ユーザーはディレクトリと Webex 組織の間で常に同期されるようになります。ディレクトリでユーザーが作成、更新、削除されると、変更が同期されて Control Hub に反映されます。

Cisco Directory Connector を使用した Active Directory と Webex 間のユーザー同期の詳細については、「*Cisco Directory Connector 導入ガイド*」https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cloudCollaboration/spark/hybrid/services/directoryconnector/cmgt_b_directory-connector-guide-admins.html を参照してください。

SCIM API を使用した Azure AD と Webex 間のユーザー同期の詳細については、「*Azure Active Directory ユーザーを Cisco Webex Control Hub に同期させる*」<https://help.webex.com/ja-JP/aumpbz/Synchronize-Azure-Active-Directory-Users-into-Cisco-Webex-Control-Hub> を参照してください。

SCIM API を使用した Okta と Webex 間のユーザー同期の詳細については、
「Okta ユーザーを Cisco Webex Control Hub に同期する」

<https://help.webex.com/ja-JP/nmm9pzdb/Synchronize-Okta-Users-into-Cisco-Webex-Co-ntrol-Hub> を参照してください。

4. ハイブリッド カレンダー サービスを展開する

ハイブリッド カレンダー サービスはミーティング向けの Webex アプリを展開する場合に強く推奨されており、すべてのユーザーに対して有効にする必要があります。ハイブリッド カレンダー サービスを使用すると、組織のカレンダー システムを Webex と統合して、すべてのスケジュールされたミーティング (予定を含む) を Webex アプリのカレンダーに取り込むことができます。このハイブリッド カレンダーの統合は Microsoft Exchange、Microsoft 365、Google の G Suite カレンダーをサポートしており、ユーザーはローカル プラグインを必要とせず、「@」キーワードでミーティングをスケジュールできます。また、ユーザーはスケジュールリング時に、電話会議のリソースとして Webex Room システム、Webex デスク デバイス、Webex Boards をミーティングに追加できます。デバイスで Webex カレンダー サービスが有効になっている場合、カレンダー上でスケジュールされているミーティングには緑の **[参加]** ボタンがデバイスで表示されます。ミーティングに参加するときは、デバイスで **[参加]** ボタンを押すだけで、ミーティングに自動的にコールインできます。

ハイブリッド カレンダー サービスが無効な場合、Webex アプリ内蔵のスケジュールラを使用してミーティングをスケジュールし、Webex アプリに **[参加]** ボタンを表示させることができますが、Webex デバイスには One Button to Push (OBTP) は表示されないため、ビデオ アドレスを手動でダイヤルしてミーティングに参加する必要があります。このようにデバイスで最適なエクスペリエンスが得られないため、ハイブリッド カレンダー サービスを有効にして最適なエクスペリエンスを実現する必要があります。

Webex Hybrid カレンダーサービスの展開の詳細については、「Cisco Webex Hybrid カレンダー サービスの導入ガイド」

https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cloudCollaboration/spark/hybrid/services/calendarservice/cmgt_b_deploy-spark-hybrid-calendar-service.html を参照してください。

移行手順と考慮事項

以下の移行手順に従い、Webex Meetings アプリから Webex アプリに移行します。

1. Webex Control Hub をセットアップする

注意: Control Hub で管理している Webex Meetings サイトは、すでに Control Hub の一部であるため、i と ii の手順を省略できます。

以下は、ミーティング用の Webex アプリに移行するための Control Hub のセットアップ手順です。

- i. Webex サイトを Webex Control Hub にリンクする (必須)
- ii. リンクが成功したことを確認する (必須)
- iii. リンク済みユーザーにサービスとライセンスを割り当てる (必須)
- iv. ミーティング データ保持ポリシーの設定 (オプション)
- v. コンテンツの規制コンプライアンスを確認する (オプション)
- vi. フル機能のミーティング エクスペリエンスを有効にする (必須)

i. Webex サイトを Webex Control Hub にリンクする (必須)

Cisco が作成した自動サイト リンク プロセスの一環として、顧客の Webex サイトは Control Hub にリンクされている必要があります。ユーザーを Control Hub にリンクすると、ユーザーは Webex プラットフォーム アイデンティティに関連付けられ、Webex コラボレーション アプリケーションとサービスにアクセスできるようになります。

Webex Meetings サイトのすべてのユーザーは、サイトのリンク プロセスの終了時に自動でリンクされますが、完了には最大で 24 時間かかります。Webex サイトとユーザーを Control Hub にリンクする方法の詳細については、「Cisco Webex サイトを Control Hub にリンクする」<https://help.webex.com/ja-JP/341eud/Link-Cisco-Webex-Sites-to-Control-Hub> を参照してください。

Webex サイトを Control Hub にリンクすると、Webex アプリでユーザーが有効になり、次のような機能にアクセスできるようになります。

- **Cloud Collaboration ポートフォリオの分析** - 分析は Webex Meetings の履歴データで構成され、これにはミーティングに費やされた分数、ミーティングの質、使用した音声の種類などが含まれます。
- **Control Hub の高度な診断とトラブルシューティング** - 過去 30 日以内に進行中または発生したミーティングの品質問題を検索するために役立つデータを公開します。品質データには、参加者の詳細、ビデオ品質、音声品質が含まれます。
- **People Insights** - ミーティング参加者のビジネスおよび専門分野に関するプロフィールをリアルタイムで表示します。各ユーザーのプロフィールには、役職、職歴、ソーシャルメディアのリンク、その他の仕事や仕事に関連する情報を含めることができます。
- **Webex Meetings 向け Webex Assistant** - 参加者や主催者と対話し、音声コマンドや自然言語処理 (NLP) によりノート、アクション アイテム、リマインダーなどの取得を支援する AI 搭載ツールです。また、ミーティングのリアルタイム文字起こしや自動字幕によって、よりアクセスしやすいミーティングを実現します。

メモ: Webex Meetings のサイトとユーザーが Control Hub にリンクされている場合でも、ユーザーは双方で管理、維持されます。Webex Meetings に関連するすべての構成および主催者ライセンスは、Webex Meetings の管理に引き続き使用されるサイト管理に保存されます。新しい Webex Meetings アカウントが必要な場合は、移行後の手順「[1. 移行後の考慮事項を確認する](#)」で説明されている手順に従い、新しいアカウントを作成します。

ii. リンクが成功したことを確認する (必須)

Control Hub で [サービス] > [ミーティング] の順に進み、Webex サイトのステータスが「リンク済み」となっていることを確認して、Webex サイトとユーザーが Control Hub に正常にリンクされていることを確認します (図 6 を参照)。

図 6. Control Hub - ミーティング サービス: Webex サイトのリンクの確認

Site Name	Subscription ID	User Management	Site Link Status	Note
...webex.com	Not Available	Control Hub	Not Applicable	
...-bts.webex.com	sub-...-bts.webex...	Webex Meeting Site Admin	Linked	
...-ats.webex.com	-	Webex Meeting Site Admin	Linked	

すべての Webex Meetings ユーザーがリンクされ、Control Hub のユーザー リストに表示されていることを確認します。図 7 で示すように、Meetings ユーザーがリンクされていることを確認するには、Control Hub でリンクされている複数のユーザーにアクセスし、リンクされた Webex Meetings サイトがリンク済みアカウントのリストに表示されることを確認します。

図 7. Control Hub - ユーザー: ユーザー リンクの確認

First Name	Last Name	Display Name	Email
Coby	Hopkins	Coby Hopkins	chopkins@...webex.com

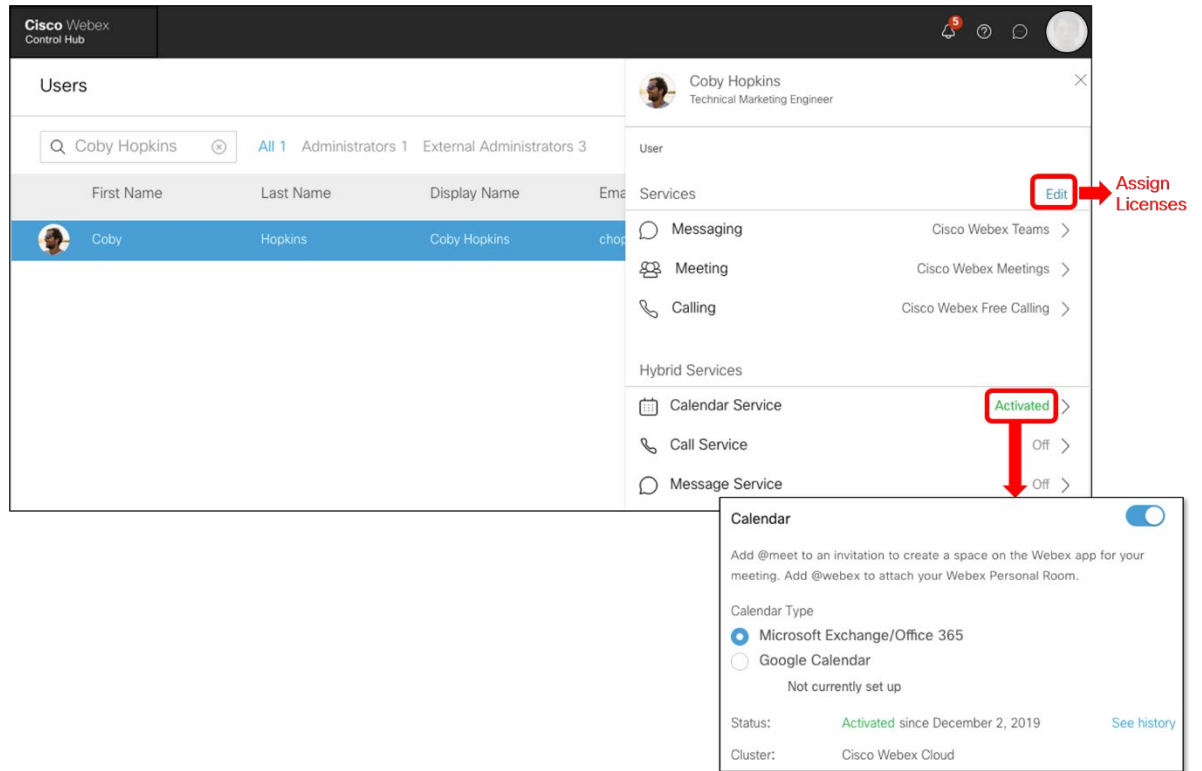
Account Name	Role
...-ats.webex.com	Host
...-bts.webex.com	Host

問題があり、サポートが必要な場合は、TAC にお問い合わせください。

iii. リンク済みユーザーにサービスとライセンスを割り当てる (必須)

Control Hub で新しく作成したリンク済みユーザーには、ライセンス テンプレートから自動的にライセンスを割り当てることができます。図 8 で示すように、Control Hub の既存のリンク済みユーザーには、手動でライセンスを割り当てることができます。

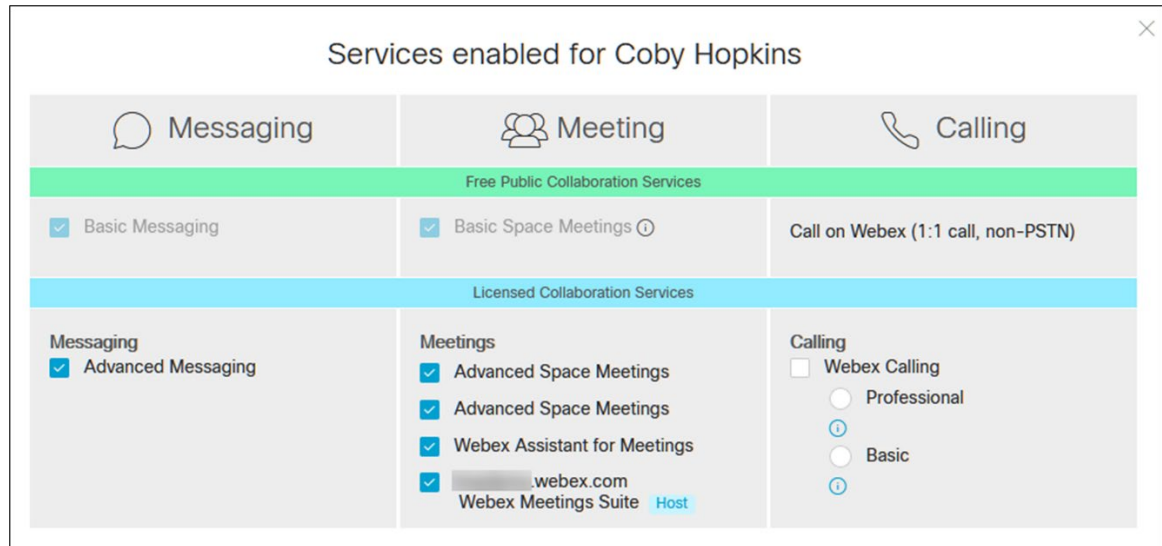
図 8. Control Hub - ユーザー: サービスとライセンスの割り当て



オプションとして、カレンダー サービスでユーザーをアクティブにして「@」キーワードによるスケジューリング機能を使用することができます (図 8 を参照)。

図 9 で示すように、ミーティングのワークロードについては、Webex アプリのユーザーに *Meetings 向け Webex Assistant* などのミーティング機能ライセンスを割り当てることができます。

図 9. Control Hub - ユーザー: ライセンスの割り当て



ユーザーにサービスとライセンスを手動で一括して割り当てるには、Control Hub から CSV テンプレートにユーザーをエクスポートし、さまざまな CSV テンプレート列を使用してユーザーにサービスとライセンスを割り当てた後、更新された CSV テンプレートを Control Hub にインポートして戻します。

「CSV テンプレートで Cisco Webex Control Hub のユーザーを修正する」

<https://help.webex.com/ja-JP/e2okky/Modify-Users-in-Cisco-Webex-Control-Hub-with-the-CSV-Template> の記事を参照してください。

ライセンスとサービスの割り当てが必要なユーザーが少ない場合、管理者は Control Hub 内で手動で割り当てることができます。詳細については、「ユーザーごとに Cisco Webex Control Hub のサービス ライセンスを編集する」

<https://help.webex.com/ja-JP/9dmqgv/Edit-Service-Licenses-in-Cisco-Webex-Control-Hub-for-Individual-Users> の記事を参照してください。

iv. ミーティング データ保持ポリシーの設定 (オプション)

デフォルトの組織のミーティング データ保持ポリシーでは、ミーティング録画および Webex Assistant の音声テキストとハイライトについては、300 日に設定されています。

組織に異なる保持ポリシーが設定されている場合には、「保持ポリシー」

<https://help.webex.com/ja-JP/nqmr56k/Set-the-Retention-Policy-for-Your-Organization> の記事を参照して、デフォルトの保持ポリシー変更に関する情報を確認してください。

v. コンテンツの規制コンプライアンスを確認する (オプション)

Webex Meetings コンテンツの規制コンプライアンスを維持することは重要です。組織のコンプライアンス担当者は、Control Hub にサインインして、Webex Assistant の音声テキストからコンプライアンスに準拠していないデータを検索して、コンプライアンス レポートを生成できます。これにより、コンプライアンス担当者は、ミーティングの参加者が外部の規制要件および内部のポリシーの両方に準拠していることを確認できます。

Webex コンテンツの規制コンプライアンスについての詳細は、「Webex コンテンツの規制コンプライアンスを確認する」<https://help.webex.com/ja-JP/nr70c1m/Ensure-Regulatory-Compliance-of-Webex-Content> の記事を参照してください。

メモ: このコンプライアンス機能を使用するには、Pro Pack for Control Hub が必要です。Pro Pack については、「Pro Pack for Cisco Webex Control Hub」<https://help.webex.com/ja-JP/np3c1rm/Pro-Pack-For-Cisco-Webex-Control-Hub> の記事を参照してください。

vi. フル機能のミーティング エクスペリエンスを有効にする (必須)

フル機能のミーティング エクスペリエンスはすべての顧客に対して自動的に有効になっているはずですが (ビデオ メッシュが展開されている場合を除く)、有効になっていない場合は、CSM または Cisco アカウント チームに連絡して、有効にします。有効にすると、Webex アプリは次の機能にアクセスできるようになります。


- Webex アプリのユーザーは、フル機能のミーティング エクスペリエンスで Webex Meetings に参加できます。
- 顧客のサイトのダウンロード ページから Webex アプリをダウンロードできます。
- フル機能のミーティング エクスペリエンスは、組織全体のユーザーに対して有効であり、ユーザーが参加するすべての Webex Meetings に適用されます。

注意: 現在、デスクトップ版の Webex アプリだけがフル機能のミーティング エクスペリエンスをサポートしています。このエクスペリエンスはモバイル デバイスで動作する Webex アプリではまだサポートされておらず、代わりに Meetings アプリがデバイスにインストールされている必要があります。

注意: スペース ミーティングはスペースに関連付けられており、Webex アプリに固有のものであります。スペースのメンバーは誰でもスペース ミーティングを開始して、ミーティングでコラボレーションできます。詳細については、「Webex / ミーティング機能とミーティング スポンサー」 <https://help.webex.com/ja-JP/uxg1zl/Webex-Meeting-Capabilities-and-Meeting-Sponsors> の記事を参照してください。

Webex アプリでスペース ミーティングに参加しても、エクスペリエンスに変更はありません。

2. Webex アプリを展開する

Webex アプリは月次リリース サイクルで更新されます。毎月、新しいリリースが利用可能になると、Webex アプリで緑色の更新矢印  が表示され、ユーザーはこの矢印をクリックして、アップグレードします。新しい更新はランダムにユーザーに配信されます。組織の全ユーザーへのロールアウトが完了するまでに、約 7 日かかります。組織の管理者は、Webex アプリの製品更新プログラムについて、アップグレードするバージョンやタイミングをコントロールし、組織のポリシーに従って調整することができます。ただし、すべての新機能とバグ修正を得るためにも、Cisco は常に最新バージョンの Webex アプリを使用することを推奨しています。

Webex アプリのシステム要件、インストール、更新プロセスなどの詳細については、「Webex | アプリのインストールと自動アップグレード」 <https://help.webex.com/ja-JP/nw5p67g/Webex-Installation-and-Automatic-Upgrade> の記事を参照してください。

Webex アプリのリリース コントロールと管理の詳細については、「Webex の製品アップデートコントロール」 <https://help.webex.com/ja-JP/wlgw73/Product-Update-Controls-for-Webex> の記事を参照してください。

Webex アプリは、サードパーティ製の展開ツールを使用してデスクトップ デバイスにプッシュしてインストールすることも、エンド ユーザーが手動でインストールすることもできます。

- Windows 版 Webex アプリは、.msi ファイルを使用してインストールします。
- Mac 版 Webex アプリは、.dmg ファイルを使用してインストールします。

ユーザーは自分で <https://www.webex.com/downloads.html> から Webex アプリをダウンロードして、インストールできます。

Windows デバイスに Webex アプリをインストールする場合、次の 2 つの異なる方法があります。

- 既存のユーザーにアプリケーションをインストールする。
- すべてのデバイス ユーザーにアプリケーションをインストールする。

アプリケーションのインストール場所やコマンド ラインのインストール オプションの詳細については、「Webex | アプリのインストールと自動アップグレード」のヘルプ記事の [Webex アプリのインストール情報](#) を参照してください。

Webex アプリのミーティング コンポーネントは毎月リリースされます。Webex アプリとは別にリリースされますが、Webex アプリのリリース スケジュールに近いものです。毎月、最新版は Webex Meetings のサイトで公開されます。ユーザーがサインインまたはミーティングに参加するときに、ミーティング コンポーネントが存在しない、または最新ではない場合、新しいバージョンが利用可能であれば、Webex アプリはミーティング サイトからミーティング コンポーネントをダウンロードし、ユーザーの操作なしでローカル デバイスにインストールします。

メモ: Webex アプリ全体では製品の更新をコントロールしていますが、ミーティング コンポーネントではコントロールされません。Webex アプリとそのミーティング コンポーネントは、互いのバージョンに依存することなく動作しますが、Cisco では同じ月のリリースに合わせてバージョンを維持することを推奨しています。

3. Webex Meetings アプリを Webex アプリに更新する

各 Webex サイトでは、ユーザーに対して Webex Meetings アプリから Webex アプリへの更新を行うデフォルトの更新月が設定されています。デフォルトの更新月が組織の都合に合わない場合、管理者は Control Hub にアクセスして更新月を設定できます (以下の手順を参照)。

- a. Control Hub で[サービス] > [更新] の順に移動します。
- b. [開始] ボタン (右側の [Webex Meetings を新しい Webex に更新] カード) をクリックします。

- c. 「更新の前提条件を確認」セクションのすべての参照事項を確認し、実行する前に前提条件が満たされていることを確認します。
- d. 「更新をテスト」セクションでは、クラスター B または AI 上にある組織のテスト サイトが一覧表示されます。Control Hub 管理者は、本番サイトのユーザーを更新する前に、オプションで 1 つ以上のサイトで更新月を設定し、少数のユーザーでテストすることができます。
- e. 「Webex Meetings を新しい Webex に更新」セクションでは、管理者が更新月を選択して設定できるすべての本番サイトが一覧表示されます。サイトの隣にある鉛筆のアイコンをクリックすると、管理者はクライアントの更新が行われる更新月を設定できます。

更新オプションについては、テスト サイトには 3 つのオプションがあり (リリースバージョンで更新、選択されたリリースで更新、今すぐ更新)、本番サイトには 2 つのオプションがあります (リリースバージョンで更新、選択されたリリースで更新)。各オプションの詳細については、以下の表 4 を参照してください。

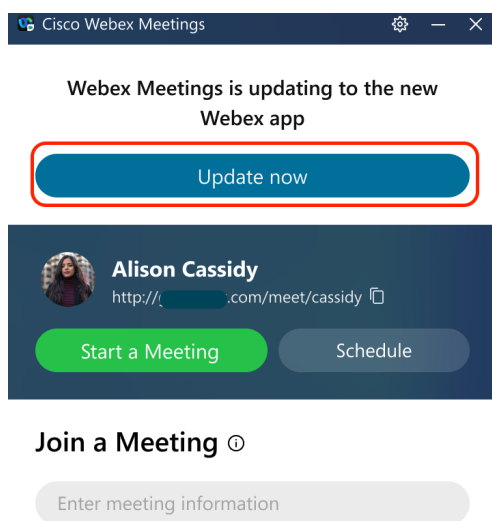
更新月が設定されると、サイトの更新ステータスは「開始済み」に変更します。管理者がスケジュールされた更新をキャンセルする必要がある場合は、選択したリリースの GA 開始日の 24 時間前までにキャンセルします。

表 4. Webex サイトの Webex アプリ更新をスケジュールするためのオプション

オプション	説明
リリースバージョンで更新	サイトに対して選択されたデフォルトの更新月です。選択した月のリリースがサイトにプッシュされると更新が行われます。
選択されたリリースで更新	ドロップダウン リストから、デフォルトとは異なる更新月を選択します。この選択は、更新月の 1 日の 7 日前まで変更可能です。
今すぐ更新 ¹	更新をすぐに開始します。6 ~ 8 時間後に開始されます。注意: この選択を元に戻すことはできません。

¹ テスト サイトの更新のオプションとしてのみ利用できます

図 10 - Webex Meetings アプリから Webex アプリへの更新



更新月には、Webex サイトがその月のリリースにアップグレードされると、Webex Meetings アプリを Webex アプリに更新できるようになります。その場合、**[今すぐ更新]** ボタンがクライアントの上部に表示され (図 10 を参照)、ユーザーはボタンをクリックして更新プロセスを開始できます。更新プロセス中に次のことが行われます。

- Webex アプリがインストールされ、Webex Meetings アプリがアンインストールされます。
- Webex Meetings アプリの基本設定が Webex アプリに引き継がれます。
- Webex Meetings アプリで設定していたユーザーの Webex サイトは、ユーザーの優先サイトとして Webex アプリに移行されます。

更新プロセスの終了時、SSO が有効になっている場合は、ユーザーは自動的に Webex アプリにサインインします。有効になっていない場合、ユーザーは手動で Webex アプリにサインインする必要があります。

注意: Webex アプリに更新した結果、Webex サイトのダウンロード ページで、Webex Meetings アプリをダウンロードするリンクが Webex アプリをダウンロードするリンクに変わります。

Webex アプリは Google Play や Apple App Store などの公開アプリケーションストアからモバイル デバイスにインストールされ、アップグレードされます。デスクトップ

デバイス用の Webex アプリには、公開アプリケーションストアのモバイルアプリケーションダウンロードページにユーザーを導く、QR コード機能が備わっています。

注意: 組織がモバイルアプリケーション管理 (MAM) ツールを使用してモバイルデバイスで Webex アプリのロールアウトを管理したい場合は、IPA および APK のパッケージを Cisco から取得できます。

Webex アプリの展開に MAM を使用する場合の詳細については、「[モバイルアプリケーション管理プログラムにサインアップする](https://help.webex.com/ja-JP/i6gys3/Sign-Up-for-the-Mobile-Application-Management-Program)」<https://help.webex.com/ja-JP/i6gys3/Sign-Up-for-the-Mobile-Application-Management-Program> を参照してください。

移行後の手順と考慮事項

移行が完了した後で、環境をクリーンアップするために考慮すべき追加手順があります。

1. 移行後の考慮事項を確認する

移行完了後に、Webex アプリの Webex Meetings について、以下の事項を検討します。

デバイスで Webex アプリと近接通信によるペアリングを行い、Webex ミーティングに参加した場合、次のような一部の機能は利用できません。

- ビデオ デバイスからアプリへのミーティングの移動、またはその逆。
- CTI 通話コントロールのサポート。

注意: Webex Calling のコンテキストでの CTI はサポートされています。

チャットは Webex ミーティングでは持続しませんが、スペース ミーティングでは持続します。

フル機能のミーティング エクスペリエンスを備えている Webex アプリは、Webex ビデオ メッシュをサポートしていません。ただし、スペース ミーティングが利用できる Webex アプリは Webex ビデオ メッシュをサポートしています。

Webex Events の場合

- パネリストと出席者は、Webex アプリから Webex Events (クラシック) に直接参加できません。
- フル機能のミーティングを備えている Webex アプリは、主催者、パネリスト、参加者として Webex Events (新) ミーティングを完全にサポートします。

Webex アプリは Webex Training への参加や Webex Support をサポートしていません。Webex Training には Webex Meetings アプリを、Webex Support には Webex Support Manager アプリを引き続き使用する必要があります。

Webex アプリは、ミーティング セッションの同時実行をサポートしていません。

Webex アプリでは Meetings および Events のプレゼンス情報が一致しません。ユーザーが Meetings に参加している場合にのみ、ミーティング中と表示され、Events に参加している場合は表示されません。

ユーザーは生産性向上ツール、Webex スケジューラ、「@」キーワード(ハイブリッド カレンダー サービス)を使用して、引き続きミーティングをスケジュールできます。以下の違いに注意してください。

- ハイブリッド カレンダー サービスの「@」スケジューリングでは、ミーティングは Webex アプリで設定された優先 Webex サイトで作成されます。デフォルトで優先 Webex サイトは、Control Hub のハイブリッド カレンダー サービス設定で定義されているデフォルトの Webex サイトに設定されています。ユーザーは Webex アプリで優先 Webex サイトを手動で変更できます。
- 特定のサイトにサインインしている生産性向上ツールと Webex スケジューラでは、そのサイトにミーティングが作成されます。

表 5 は、移行後に使用可能な Webex Meetings スケジューリングのオプションを示しています。

表 5. Webex アプリに移行した後の Webex Meetings のスケジューリング

オプション	サポートされているカレンダー システム	スケジュール可能なミーティング タイプ
生産性向上ツール ¹	M365 と Exchange	パーソナル会議室、通常の Webex Meetings
Webex スケジューラ ¹	M365、Exchange、Google	パーソナル会議室、通常の Webex Meetings
カレンダー サービス ¹	M365、Exchange、Google	パーソナル会議室、スペース ミーティング
Web スケジューラ ²	適用なし	通常の Webex Meetings、Webex Events (新)
Webex アプリ スケジューラ ¹	適用なし	パーソナル会議室、通常の Webex Meetings、スペース ミーティング

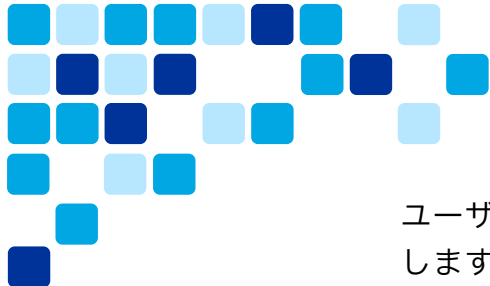
¹ Webex Events (新) はサポートしていません。

² Web スケジューラで作成されたミーティングには .ics カレンダー ファイルが添付され、招待者はそのファイルを開いて自分のカレンダーに保存できます。

新しい Webex Meetings アカウントが必要な場合は、次の操作を行います。

注意: Control Hub にリンクしている Webex Meeting サイトでは、サイト管理と Control Hub の両方で新規ユーザーを作成する必要があります。詳細については、以下の手順を参照してください。

- i. Control Hub 組織で新規ユーザーを作成します。ディレクトリの同期が有効になっているかどうかによって、また有効になっている場合には展開されているディレクトリのタイプに応じて、ユーザーは手動で追加されるか、顧客のディレクトリから同期されます。Webex Control Hub でユーザーを作成する方法については、「Control Hub の組織にユーザーを追加する方法」<https://help.webex.com/ja-JP/nj34yk2/Ways-to-Add-Users-to-your-Control-Hub-Organization> の記事を参照してください。
- ii. Control Hub で、ミーティング機能のライセンスを割り当て、オプションで新規ユーザーのハイブリッド カレンダー サービスを有効にします。ユーザーが多い場合は、CSV テンプレートを使用して一括更新を行います。



ユーザーが少ない場合は、Control Hub で各ユーザーの設定を手動で更新します。

- iii. Control Hub にリンクされている Webex Meetings サイトでは、以下の操作を行います。
 - Webex Meetings サイトのサイト管理で、新規ユーザーごとにアカウントを作成します。
 - Webex Meetings サイトで作成された新規ユーザーは、Control Hub の各ユーザーに自動的にリンクされますが、完了には最大で 24 時間かかる場合があります。
 - 新規ユーザーが Control Hub に正常にリンクされたことを確認します。

2. Webex Meetings アプリを削除する

注意: 前述の手順 1. 移行後の考慮事項を確認する に目を通し、Webex Meetings アプリが不要になったことを確認してから、この削除手順を実行してください。


ユーザーが Webex アプリに移行すると、Webex Meetings アプリは不要となり、ユーザーのデバイスから削除することができます。

Webex アプリの更新プロセスの一環として、デスクトップ版の Webex Meetings アプリは、Windows ユーザーおよび管理者権限を持つ Mac ユーザーのマシンから自動的にアンインストールされます。

Mac の標準ユーザーの場合は、IT 管理者がユーザーに代わって Webex Meetings アプリをアンインストールできます。Cisco は、IT 管理者が Webex Meetings アプリを完全に削除するためのツールを提供しています。Mac から Webex Meetings アプリを削除する方法の詳細については、「Mac で Webex Meetings ソフトウェアをアンインストールするには?」 <https://help.webex.com/ja-JP/WBX38280/How-Do-I-Uninstall-Webex-Software-on-a-Mac> の記事を参照してください。

3. Webex アプリの新機能や今後公開予定の機能を追跡する

Webex アプリに新機能が導入されると、各コンポーネントの **新機能** の記事が更新されます。Cisco では、Webex Meetings、Webex アプリ、Control Hub で以下のコンポーネントの **新機能** 記事を追跡しておくことを推奨しています。以下の **新機能** の各記事



にアクセスし、「この投稿記事に登録する」リンクをクリックして、今後記事が更新された場合に通知を受け取るようにします。

- Webex ミーティング: *Webex Meetings* の最新チャンネルの新機能 - <https://help.webex.com/ja-JP/xcwws1/What-s-New-for-the-Latest-Channel-of-Webex-Meetings>
- Webex アプリ: *Webex* 新機能 - <https://help.webex.com/ja-JP/8dmbcr/Webex-What-s-New>
- Webex Control Hub: *Cisco Webex Control Hub* の新機能 - <https://help.webex.com/ja-JP/u9dlxd/What-s-New-in-Cisco-Webex-Control-Hub>



参照情報

コラボレーション移行

- コラボレーション移行プログラム ページ
<https://www.cisco.com/go/ct>
- Jabber から Webex アプリへの移行 - カスタマー ジャーニーと準備 v1.0 (Meetings への移行ジャーニーを含む)
https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/solutions/PA/mcp/Jabber_to_WebexApp_Migration-Customer_Journeys_Readiness_v1-0.pdf
- Jabber から Webex アプリへの移行 - 顧客の準備評価 (Meetings への移行準備を含む)
https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/solutions/PA/mcp/Jabber_to_WebexApp_Migration-Customer_Readiness_Assessment.xlsx
- Webex Meetings アプリから Webex アプリへの移行マップ
https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/solutions/PA/mcp/TDM_MEETINGS_WebexMeetingsApp_to_Webex.pdf

ハイブリッド サービス

- Cisco Webex ハイブリッド カレンダー サービスの展開ガイド
https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cloudCollaboration/sparc/hybridservices/calendarservice/cmgt_b_deploy-spark-hybrid-calendar-service.html

ミーティング

- Windows 版 Webex 生産性向上ツールのインストールと設定
<https://help.webex.com/ja-JP/nby4rwy/Install-and-Set-Up-Webex-Productivity-Tools-for-Windows>
- Microsoft 365 用の Cisco Webex Meetings スケジューラの設定
<https://help.webex.com/ja-JP/nttajz6/Schedule-and-Join-Meetings-with-Cisco-Webex-Meetings-Scheduler-for-Microsoft-365>

ネットワーク

- Webex サービスのネットワーク要件

<https://help.webex.com/ja-JP/WBX000028782/Network-Requirements-for-Webex-Services>

ユーザーと Webex Control Hub

- Cisco Webex Control Hub を使い始める

<https://help.webex.com/ja-JP/nkhozs6/Get-Started-with-Cisco-Webex-Control-Hub>

- Control Hub の組織にユーザーを追加する方法

<https://help.webex.com/ja-JP/nj34yk2/Ways-to-Add-Users-to-your-Control-Hub-Organization>

- ドメインの追加、確認、要求

<https://help.webex.com/ja-JP/nxz79m5/Add-Verify-and-Claim-Domains>

- Control Hub のシングル サインオン インテグレーション

<https://help.webex.com/ja-JP/lfu88u/Single-Sign-On-Integration-in-Control-Hub>

- Cisco Directory Connector の展開ガイド

https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cloudCollaboration/spark/hybridservices/directoryconnector/cmgt_b_directory-connector-guide-admins.html

シスコ コンタクトセンター



自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。

製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

お問い合わせ先

お電話での問い合わせ

平日10:00-12:00, 13:00-17:00

0120-092-255

お問い合わせウェブフォーム

<http://cs.co/webex-sales-jp>



©2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco ロゴ、Webex by Cisco、および Webex は、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における商標登録または商標です。本書籍またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(2106R) この資料の記載内容は20XX年X月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>